

## 2006年度第3回幹事会議事録

## 議題1 / 交通費について

●日時  
2006年9月30日(土)  
15:00~17:00

●場所  
阿佐ヶ谷美術専門学校内521号室

●出席者  
秋元圭一 [会長]  
日野 高 [副会長]  
甲斐光省 [副会長]  
藤川正美 [常任]  
西田一成 [常任]  
渡部征明 [常任]  
大村政幸 [常任]  
浜村圭一 [常任]  
松岡和彦 [常任]  
小山 弘 [常任]  
永吉昭浩 [会員]  
勝山昌幸 [常任]  
角谷祥子 [常任]

●委任欠席(カッコ内→代理人)  
三好耕之  
菊池 満  
白石龍子  
富澤和治

常任出席者 12名  
委任欠席者 4名  
定足数成立

●議事進行  
議長・進行: 小山 弘

●議事録  
書記: 坂井由実  
校正・制作・文責:  
秋元圭一・小山 弘

■議題  
議題1  
交通費について

議題2  
会則検討について

議題3  
セミナー実行プロジェクトについて

議題4  
会則検討・その他

事務局の小山氏から交通費についての見直しの意見について説明があり、プリントが配られた。現在の交通費は一律往復1000円だが、学校に開催場所が固定されていること、人によって差がでること、また常任幹事のメンバー固定化をさけることから**交通費の見直し案が提案された**。

案として、1000、2000、3000、4000円の4ステップにくぎり支払う形があげられた。(徒歩の人にも手当として最低ラインを1000円と定める)

去年までの予算は55000円。上記の案を採用すると150000円になるが、予算的には問題がなく、承認されれば1回目からさかのぼり、年度末に差額を支払う予定であることも述べられた。その後、意見交換に入った。

「(日野)報酬ではないのだし事務処理の問題もある。(最寄り駅、最短距離での料金を)自己申告制にし、ぴったりに交通費として払ったほうがいい」「(秋元)平均化する」と言う考え方をすると日野氏に賛成などの意見が出された。

まとめとして**出席者に交通費を自己申告(金額は4000円まで)**してもらい、**常任幹事会出席回数分の実費を年度末に支払う**ことにした。また、開始期間は今年度からとし、**第1回の「幹事会」時のみ一律1000円の支給**とすることで議決を求め、挙手により全会一致で承認された。

## 議題2 / アサビフェスタについて

アサビフェスタ講演会担当の松岡氏からフェスタについての説明があった。10月7日15:00から西内としお氏(S58年卒、NHKみんなのうたアニメーター)に講演会を依頼したこと、小沢氏の「ACV」の展示は今年は開催しない事があげられた。

セミナー講演の謝礼金額に関して意見がいくつかあがった。「(松岡)謝礼は30000円となっているが、もっと出してはどうか。また、司会も準備進行が大変なため制作費が欲しい」「(日野)講演者には謝礼は一律がよい」などが提案された。また、講演者について日野氏が「講演者を誰にするかにも承認が必要なのでは」と述べた。この問いに「(浜村)アサビフェスタのような生徒向けのものは、学生の事をよくわかっている人間が講演者を決めたいほうがよい。またはメールなどを使っての連絡でいいのではないか」との意見に対し、日野氏は「AsabiBridgeの承認は取り、フェスタの承認を取らないのはおかしい。意見、疑問があるのにメールなどの手段を使うのはおかしい。会議にかけたほうが正しいのではないか」と返答した。

まとめとして今回の講師は**西内としお氏、謝礼は30000円、準備費用として10000円程度**とすることで議決を求め、挙手により全会一致で承認された。

## 議題3 / セミナー実行プロジェクトについて

担当の西田氏から一回目のセミナー実行プロジェクト(AsabiBridge)について、参加受付は10月5日から、**人数は60名(卒業生)30名(在校生)合計90名**という構成になったと述べた。参加受付については大村氏から説明があり「アサビネットに参加受付のリンクを張った。フォームに書き込み、送ると受付番号の記載されたメールが返信される。枠が埋まると受付できないような仕組みになる」と述べた。これに対し、日野氏は「登録フォームの暗号化はしてあるのか?個人のデータであるから慎重に扱うべき」との意見が出され、フリーレンタルのフォームプログラムを使用しているがそこまでの機能はないとの説明だった。

その他に「(渡部)『同窓会以外にはデータを使用しません』と一言あるだけでも安心するのでは」との意見や「(日野)60名30名と枠をわけてあるが、どちらかが埋まった場合の対処の仕方やタイミングについて策はあるのか」との意見が出たが、西田氏は「心配な面もあるかとは思が大村氏と話し合いすすめて対応していく」と答えた。

その後日野氏が「篠原氏の講演時は、篠原氏の具合も考えアシスタント役(ディスカッションパートナー)に任命された」と述べた。また、篠原氏への謝礼は5万円で決まり、これ以降のセミナーの謝礼金額については学校との兼ね合いで話し合っていくことになった。

進行内容は話す内容を要約したものとスライド画像をPCに取り込み、投影しながら話をする形式で、**内容は今までの経歴から現在のデザイン論を予定**していることが報告された。

## 議題4 / 会則検討・その他

担当の甲斐氏から8月26日に行われた会則検討会の内容が書かれたプリントが配られた。内容は、**1:準会員の位置づけがはっきりしないこと。会費の事も考える余地があること。2:連絡幹事が機能していないため、必要ないのではということ。3:若い会員、女性会員が少ないこと。若い会員が増えることで新しい考え方ができるかもしれない。4:セミナーなどの企画委員会は幅広く様々な案を考えてほしい。スタッフなどは後で決めてはどうか。5:会則の文言がわかりにくい。別の書き方があるのではないか。**などがあげられた。

これらに対し「(松岡)確かに連絡幹事は機能していないので削除するべき」「(秋元)会則の文言で気になる部分は直したい」「(西田)とりあえず会則の文面を整えるのが仕事では」など色々な意見が上げられた。これらの意見に「(甲斐)幹事の問題なども、若い会員・女性会員が増えればまた新しい考えが生まれ、話が進むかもしれない。文面化よりも先にそちらを優先していきたい」と答えた。それに対し「(秋元)委員会では文面として見せていかなくてはならない。同時進行で進めていくのがよいと思う」と付け加えた。

その他に**卒業展の時期が3月13日~18日(視覚デザイン科)、20日~25日(他の科)と変更**になった。訂正は同窓会のHPに掲載予定。

次回日程:11月25日(土)の15:00~17:00ということを確認して会議は閉会した。